

認知症になっても普通に生活できる地域づくりをめざす

お気軽にご参加を  
そして多くの応援を

# 若年性認知症の 理解と支援の輪づくり講演会



特定非営利活動法人

若年認知症交流会 小さな旅人たちの会 **ちいたび会**

《 後援／中野区・杉並区・東京都

一般社団法人中野区医師会・社会福祉法人中野区社会福祉協議会 》

本講演会は、アステラススターライトパートナー（アステラス製薬）、中野区区民公益活動に関する政策助成制度による助成を受けて実施します。

## ちいたび講演会2014

### 第1部

#### 基調講演

#### 「若年性認知症と診断後の空白期間」

駒井由起子 NPO 法人いきいき福祉ネットワークセンター理事長

若年性認知症の場合、発症により職場を去り、高齢者の多いデイサービス等にもなじめず、結果として活かせる能力がありながら家庭内で孤立している例も多い。若年性認知症の特性を知り、社会との空白期間の課題を考える。

### 第2部

#### シンポジウム

#### 「地域での家族会活動への期待と可能性」

座長：高橋正彦医師 かわさき記念病院診療部長

パネラー：牧野史子（介護者を支援する視点から）

NPO 法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン理事長

駒井由起子（地域密着重視の視点から）

中大路静世（介護者の会を主催する視点から）

家族介護者の集い・さぎ草の会代表

石井智子（家族の視点から） 中野区在住

日時

11月16日（日）14時から

会場

中野サンプラザ7階 研修室10

参加費

無料（要申込）



※講演会終了後に懇親会を開催します。“交流の輪を広げましょう。”  
こちらもご参加ください。（会場は中野駅周辺を予定）

お申し込みは、WEBかFAXで ▶ <http://chiitabi.jp/>

（問い合わせ）メール：honbu@chiitabi.jp TEL/FAX：03-3338-6932 担当：事務局 高橋

## ■若年性認知症ということ

認知症は高齢者に多い病気ですが、年齢が若くても発症することがあり、65歳未満で発症した場合を「若年性認知症」と言います。

若年性認知症には、若年期の発症ならではの困難な壁に突き当たる場面が多くあります。それは、体力ある本人の看病の困難さであったり、社会の理解不足や公的支援制度の不足、働き盛りの発症による経済的苦境、あるいは、家庭内の不和、親族からの冷たい目であったりと様々です。

厚生労働省の調べでは国内で推定約3万8,000人という若年性認知症の患者数ですが、仮に中野区の人口30万人に当てはめると約100人となります。認知症傾向のある高齢者数約5,500人（中野区資料）と比較して少数派の存在であり、どうしても公的支援のしくみからは抜け落ちてしまいがちです。

だからこそ、公的支援充実の働きかけに加え、地域の理解と、顔の見える結びつきの中での活動が必要なのだと私たちは考えています。

## ■ちいたび会のめざすもの —地域密着で普通に生活できる地域づくり—

どうすればいいのだろうと悩んだ時に、病気のことをわかっている人と話せばどんなに心強いことか。でも、頼れる人に出会う機会が少ないことが若年性認知症の悩みの一つ。ちいたび会では「ともに集い共感できる場づくり」、「日常から離れた新たな思い出をも創り出してくれる旅の機会」を通じて、本人、家族が心の余裕を持ち、前向きに生活できるようお手伝いしています。

本拠地である中野区、交流会会場のある杉並区周辺を中心とした地域で活動しており、地域密着の活動ならではの強みを活かし、顔の見える関係の中で理解の輪を広げていき、当事者と周囲の人たちの距離を縮め、認知症になっても普通に生活できる、少しずつ助け合える地域づくりをめざして取り組んでいます。



## 若年認知症交流会 小さな旅人たちの会(ちいたび会)



- ◇法人名  
特定非営利活動法人若年認知症交流会  
小さな旅人たちの会（略称：ちいたび会）
- ◇役員  
理事長 高橋恵美子  
理事 高橋昭彦、巻島道子、白岩裕子      監事 鈴木廣文
- ◇沿革  
2013年6月27日 法人設立



## ■活動の柱

### (1) 若年性認知症交流会

認知症本人と家族を対象とした交流会を定期開催しています。

### (2) 手作業サロン

気軽にふらりと立ち寄り談笑のできる場、継続して何かに取り組める場として今年7月から開催。ビーズ細工アクセサリーづくりに取り組み、本人の販売活動に結びつけたいとがんばっています。原則毎月第1、第3土曜日 ちいたび会事務所にて開催



### (3) 旅行会

行きたいとは思いつつも自分たちだけでは実現が難しい「旅」のお手伝いをします。定例のリフレッシュ旅行会、日帰り旅行会のほか随時「はみ出しツアー」にも出掛けています。(2013.10 リフレッシュ旅行会：埼玉県秩父、2014.3 日帰り旅行会：栃木県佐野、はみ出しツアー：いちご狩り、田植え、バーベキュー、ホテル観賞会ほか)

### (4) 若年性認知症の理解促進講演会

地域が若年性認知症のことを知り暖かく見守ってくれるよう、理解の輪を広げるための機会を持ちます。(2013.7 映画上映及びシンポジウムの開催 中野サンプラザにて)

### (5) 会報誌「ちーたー」の発行

活動の様子を共有するとともに、地域に活動を知ってもらうために月一回定期刊行しています。地域包括支援センターなどの公的相談窓口や社協などにも配布しています。



## 交流会のご案内

《毎月第2土曜日の午後2時から開催》

気軽に集まり、仲間と出会い、気分を転換、笑顔で帰る、そんな雰囲気の中です。ここには、経験者、そして、現在進行形で係っている本人・家族のみなさんがいます。そして、専門医、医療専門職、介護専門職、支援者も応援してくれます。

お気軽にご参加を!

2014

12月13日(土)交流会

2015

1月10日(土)交流会

2月14日(土)交流会

3月14日(土)日帰り旅行会

4月11日(土)交流会

○交流会の会場は

「マイルドハート高円寺」地域交流スペース  
(杉並区高円寺北1-28-1) 中野駅徒歩10分

- ・参加費 500円 (おやつ飲み物代)
- ・交流会終了後に懇親会も予定しています。



## ♪ 入会案内とサポーターのお誘い

地域のみんで、認知症になっても普通に生活できる地域づくりに向けた活動の輪を広げていきましょう。

入会の申込み、ご寄附、サポーター随時受付けています。

《年会費》 4月1日～翌年3月31日

- ①正会員 5,000円 (個人・団体とも)
- ②賛助会員 1口5,000円 (個人1口以上、団体2口以上)
- ③登録会員 (家族等) 3,000円

《納入方法》 ① 郵便振替：払込取扱票(赤色)でご送金を (振込手数料不要) ※用紙送ります  
記号番号：00130-2-386587 加入者名：ちいたび会 / ATM送金可

- ② 銀行振込：(振込手数料はご負担をお願いします)  
金融機関：西武信用金庫 (1341) 本店 (001) 普通預金：2068622  
特定非営利活動法人若年認知症交流会小さな旅人たちの会 理事長 高橋恵美子 (トクヒ) ジャクネンニンチシヨウコウリユウカイチイサナタビ

「小さな旅人たち」

大きな地球と時の流れに比べたら、私はほんとにちっぽけで、あつという間の存在だけど、私の人生という小さな旅、あなたと、みんなと、歩きたい



特定非営利活動法人

若年認知症交流会小さな旅人たちの会

ちいたび会



FAX申込書 ▶ 03-3338-6932

ちいたび会事務局行

認知症になっても普通に生活できる地域づくりをめざす

若年性認知症を支える新たな動き 中野・杉並から発信中！

# 若年認知症交流会小さな旅人たちの会（ちいたび会） 理解と支援の輪づくり講演会・懇親会 申込書

## 11月16日(日)

**日時** 11月16日(日) 14時から  
(懇親会：17時30分から)

**会場** 中野サンプラザ7階 研修室10  
(懇親会：中野駅周辺を予定)

**参加費** 講演会： 無料 (チャリティ資料代1,000円)  
懇親会： 一般4,000円、本人・家族・学生3,000円

※お支払いは当日会場にてお願いします。

※受け付けができなかった場合のみご連絡いたします。

■ 所属団体・企業名 (法人の場合のみ)	
(フリガナ) ■ 氏名	
■ 申込人数	人
■ 参加者区分	会員 本人・家族 一般 学生 (いずれかに○)
■ 電話番号	
■ メールアドレス	
■ 懇親会参加の有無	参加する ・ 参加しない (いずれかに○)
■ その他ご意見など	

※ お申し込みの際にお伺いする個人情報は、本会が実施する事業(参加者名簿の作成、今後の事業実施に関する情報提供等)に利用することがありますが、その他の目的には使用いたしません。



特定非営利活動法人  
若年認知症交流会小さな旅人たちの会 **ちいたび会**

〒165-0034 東京都中野区大和町3-9-22 ちいたび会事務所

ホームページ：http://chiitabi.jp/ メール：honbu@chiitabi.jp

TEL/FAX：03-3338-6932 担当：高橋